



# の み が わ

2022年11月04日発行 (通算第108号)

連絡先 〒145-0061 大田区石川町1-26-8

発行 呑川の会 代表 高橋 光夫

呑川の会 e-mail: [mitsuo.takahashi@nifty.com](mailto:mitsuo.takahashi@nifty.com)

呑川の会 HP <http://nomigawanokai.net/>

高橋会員 HP <http://homepage2.nifty.com/aoiyume/>



## — 秋の都市河川ウォーキングのご案内 —

記：白石 琇朗

### 清流 矢川 (矢川緑地 ~ ママ下湧水 ~)

矢川は幅 2m程で長さ 1.5 キロの小さい川で、立川段丘から湧き出る清流「矢川」の源流である湿地・矢川緑地保全地区、矢川いこいの広場を水路沿いに歩き「ママ下湧水」「矢川おんだし」から府中用水へ合流しています。谷保駅まで周囲に見どころがある楽しいコースを辿ります。

\* 集合日時：11月19日(土) 10時 南武線 西国立駅 改札口 (会費：500円)

\* 散策：歩程 約5キロ \* 解散：南武線 谷保駅 15時

\* 天候：午後から小雨予報は決行(午前小雨は中止)

雨天の場合、翌20日(日)に変更。

連絡先：090-7568-7275 白石

\* コース：西国立駅 → 矢川緑地保全地区 → 矢川いこいの広場  
→ ママ下湧水 → 矢川おんだし → 南養寺 → くにたち  
郷土文化館・昼食(WC) → 城山公園 → 谷保浄水場浄水公園  
→ 常盤の清水 → 谷保天満宮 → 谷保駅



## 呑川の「カワセミ」は幸せを運んでくる青い鳥でしょうか！！！！

今年もやって来ました。

記：橋本 文興  
写真：田代 勝行

呑川沿いの妙見橋～養源寺橋間右岸の梯子に9月28日からカワセミのつがいが現れ、小魚を狙って食べてい



ます。この場所には3月12日にもやってきています。

「カワセミ」について参考図書で調べです。

一度出会うと忘れられない野鳥の姿です。漢字では「翡翠」、この美しい色を指して「溪流の宝石」などと呼ばれている。全長17cm スズメよりやや大きい、野鳥の分類：ブポウソウ目、カワセミ科、カワセミ属です。

\*外見の特徴は、

- ・上面は青緑色で額から後頭は羽の先端近くに青い斑
- ・胸と腹は橙褐色で喉は白い。耳羽後方に白い斑。
- ・鋭く長くくちばし。・足は鮮やかな赤色。・尾は短い。
- ・黒く輝く瞳・・・があげられます。

\*♂、♀の違いは、くちばしで判断

♂は黒い、♀はくちばしの下が赤い。

\*ホバーリングする、獲物を見つけると水中にダイブし捕食する。捕獲率は低い。

\*主に小型の淡水魚を食べる。餌は丸飲みにし、消化できない骨や鱗を後でペリットとして吐き出す。

\*良く観察すると、飽きません。警戒心も強く、数十メートル離れていても小さな音で逃げてしまいます。

\*雄は雌に「求愛給餌」という、自ら獲物を差し出す求愛行動をするとガイドブックにありました。

\*鳴き声：「ツィーツ」「チリリリー」

○日本ではほぼ全国に分布する留鳥。北海道では冬季南下する。

○呑川のほか近くの弁天池、洗足池や小池（上池台）でも観察されています。

○頭から尾にかけて光の具合で色が変わる（飛ぶ後姿が魅力的？）コバルトブルーが印象的です。

○早起きすれば会えるかな？ 呑川では6時半ころ観察されています。

○一昨年呑川でヒナが孵ったことがありましたので、今年も期待したい！！！！

（参考図書）ネイチャーガイド 日本の鳥 550 山野の鳥 発行者：斉藤博 出版社：(株)文一総合出版



## 初めての高校生フィールドワーク 「都立田園調布高校生」と共に呑川を歩く！

記：高橋 光夫

### （高校生FWの背景）

- ・2022年5月、「呑川の会」HPを通して一通のメールが飛び込んだ。発信元は都立田園調布高等学校1学年主任の先生からだった。
- ・東京都では「道德教育」と「キャリア教育」を統一して学ぶ教科「人間と社会」を設置し、全都立高校で実施している。田園調布高校では、それを1年生で実施したいと言う。



ちょうど「呑川の会」では「わたしたちの都市河川 呑川（わたのみ）」という呑川テキストを発刊したばかり、先生方にも生徒たちにも役だっていたくチャンスなので、喜んでお引き受けすることにしました。

### （下準備）

- ・私たちは小学校の「呑川学習（呑川ウォーク）」には、毎年数校の協力をしてきました。まだ幼い3年生・4年生を引き連れて行きますので、なによりも安全確保に気を使い、グループ編成にあたって、それなりの人員を確保することに努めました。しかし、高校生では交通安全などは自分たちの責務になり、ガイド役の我々は案内に徹することが出来ました。
- ・ガイドコースは学校としては「河口」までや「森ヶ崎水再生センター」見学を要望されましたが、会としてもコース地図を示し、無理の無い「蒲田駅」解散で理解を得ました。

### （雨天決行）

・当日は雨天が予想され、うまく実施出来るか危ぶまれましたが、学校としては「警報が出ない雨程度なら実施したい」との見解が前日（10月4日）に通知され、すぐガイド役の皆さんにも緊急連絡しましたが、これも「さすが高校生ならでは・・・」で、ビックリでした。

### （前向きな生徒たち）

・こうして10月5日、小雨ながら高校生たちと「松仙小学校」の角で出逢い、新幹線近くの「芹が谷橋」で相互の挨拶を行い、「呑川FW」はスタートしました（1年生40名10名ずつ4グループ）。傘をさしながらで伝わる心配でしたが、生徒たちは耳を良く傾けてくれ、呑川に強い関心を持ってくれたようです。今回のFWの結果は、学校で「発表会」が予定されているので、それを聞くのも楽しみです。

（写真は池上橋付近：松本会員撮影）

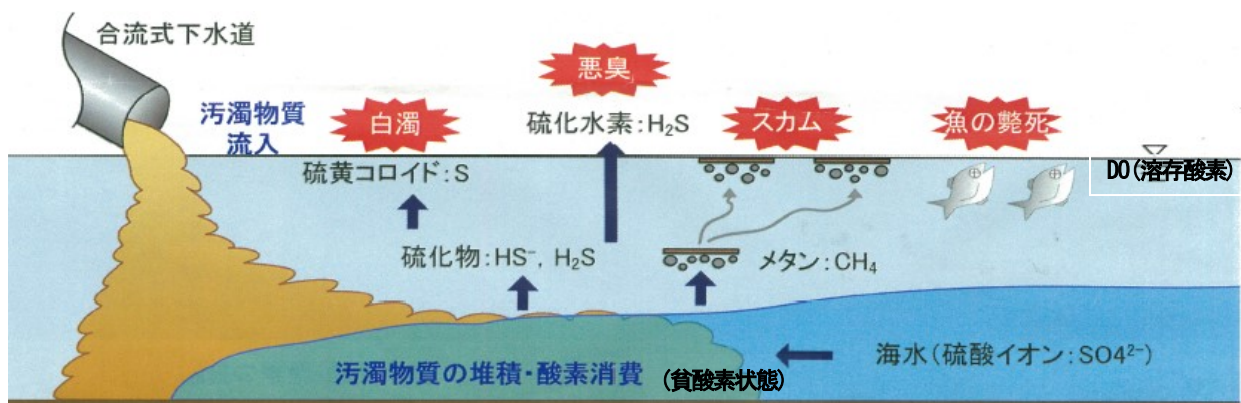
# — 高濃度酸素水装置効果測定の説明会 —

記：松本 秀雄

令和4年10月20日(木) (現地設備見学会も実施)

呑川の環境改善の目玉である、呑川上流部の一時貯留施設が完成するまでの対策の一つである、高濃度酸素水浄化設備(西蒲田地区)が令和3年度から本格稼働し、その効果説明が行われました。

当日は区の担当者4名、施設の管理・運営、水質測定データの取り纏めを行っている株建設技研の方3名、及び呑川ネットから5名が参加し、説明会後には現地設備の見学も行いました。約10年前試作機(100m<sup>3</sup>/h)での2年間の実験・検討後、2017年に建設開始2021年に完成した設備。水質悪化原因の貧酸素低層付近へ高濃度酸素水を供給しようとする設備で(100m<sup>3</sup>/hx3、酸素濃度30mg/L)、2021年7月以降は24時間可動し、降雨時以外は、1日当たり30~60kgの酸素が投入され、2021年11月12日現地見学当時は、1日約80kgの酸素が投入されていました(図1ご参照)。



イメージ図：水質悪化のメカニズム (説明会時資料より抜粋)

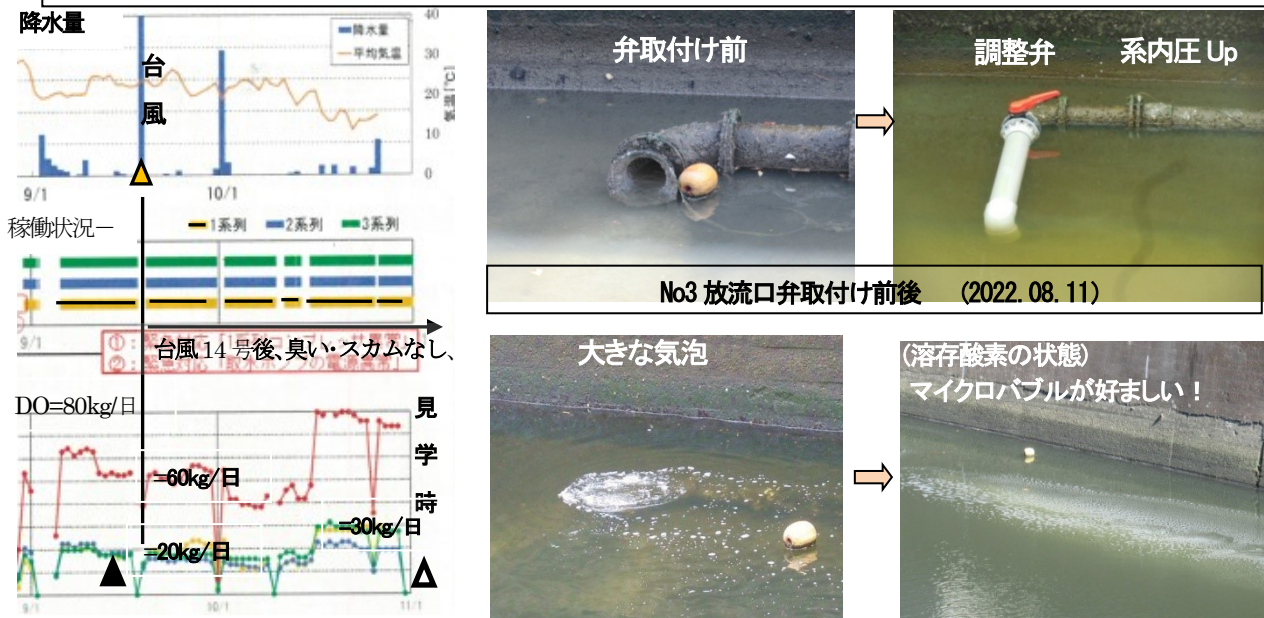


図1：稼働状況とDO供給量(2021)

2021. 10. 19(弁取付け前) ⇒ 2022. 10. 20(弁取付け後)

酸素供給量(80kg/日)=直近放流水酸素濃度(DO測定計)×1日の放水量(100m<sup>3</sup>×3×75%と仮定して)  
DO推定値=14.8mg/L、見学時溶存酸素=15~20mg/L@系内圧=0.03~0.05MPaとほぼ合致しています。

- 1) スカム発生状況のカメラ調査では、スカムの発生日数は例年に比べ少ない傾向とのこと。但し上流側で5mm以上の中規模降雨後1~2日後に、山野橋付近でスカムを多量に観測、梅雨時などの大規模出水時には低層汚濁物質が下流へ流され、宝来橋付近でスカム発生が確認されたとの事。
  - 2) 硫化水素調査では、下流側で強い臭気(馬引橋0.3ppm、弾正橋2.2ppm、宝来橋1.9ppm)を感じたが9月の台風14号通過後には(堆積物が流下したため)、スカムと臭気を殆ど感知していないとの事。
  - 3) 水質検査では、稼働後に河床付近の酸素濃度上昇傾向(馬引橋、令3.9.14(図1▲印))が見られ令4年度も引き続きデータを蓄積し更なる検証を行っているとの事。また、令4年8.11に放流管出口に調整弁取付け。見学時の装置系内圧も0.07~0.09MPaへ上昇、酸素溶解量数値も33~46mg/Lへと(公示設備仕様レベル)改善がみられており、今後の水質改善への寄与を期待するものです。
- \* 本設備は約7億の建設費で本格稼働した設備であり住民の期待も大きい(年間維持費約5千万)。

## — 呑川の会・会報掲示板 — お知らせ!

記：松本 秀雄

### 2008年以来14年振り、リニューアル(4ヶ所)

・呑川の会掲示板は、上流側から、雪ヶ谷小前、醍醐倉庫前、池上小前、池上第二小前及び蒲田小前の5ヶ所に設置しています。今回前4ヶ所の掲示板リニューアル中です。



リニューアル中(4ヶ所)

(銘板：協力者作成中)



《 呑川に合流する流れ考 30 》

～ 環七東南側・「池尻川」の源流付近 ～

記：白石 琇朗

地図：寄立 美江子

第二京浜国道と新幹線が交差する馬込橋付近から、環七東南側の池尻堀の谷を形成している源流付近を探りました。二国馬込橋バス通り信号手前の細い道路を行くと、少し低くなっている所から新幹線の谷に落ち込んでいる流れ跡が源流付近①である。新幹線下の横須賀線歩道橋を渡り、右方



向に行き②、坂道を下ると環七で、環七を東南方向に行き、新幹線を潜り環七の一本内側の蛇坂下の道に出る。そのまま進み「たぬき山公園」

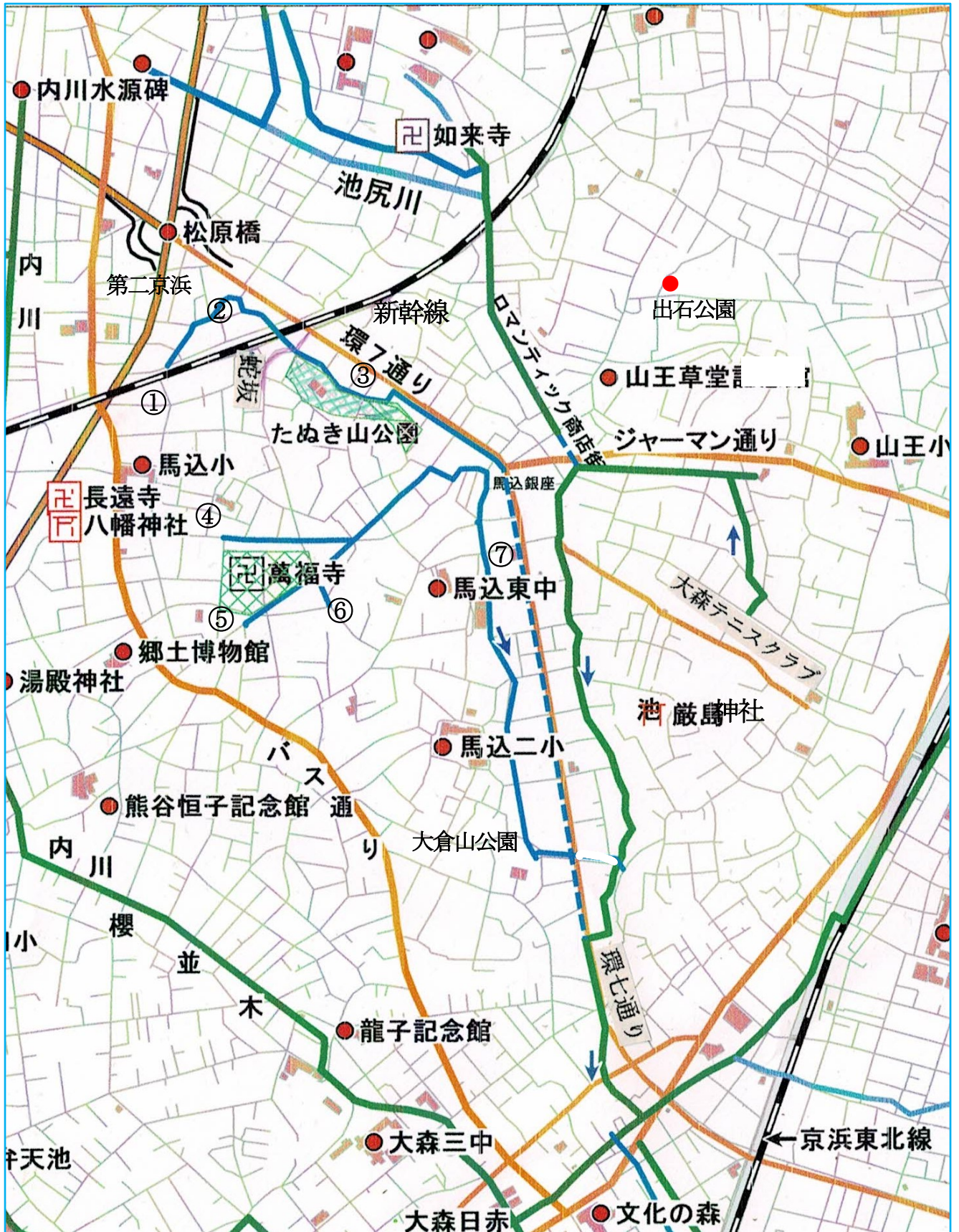


下③を通り環七に下り、馬込銀座を通る環七沿い流れが流れ跡。

もう一つの源流流れは、萬福寺の上④と下⑤に谷筋があり、下の流れは右岸から支流⑥を合わせて先で合流し、馬込銀座交差点付近の環七の



1 本内側の細い道が流れ跡で、馬込東中⑦・馬込第二小の下を通り、大倉山公園下を過ぎて「たぬき山公園」からの環七沿いの流れに合流する。その先の環七で「大森テニスクラブの窪地」からの流れと3本が合流して、平間街道を渡り春日神社横から六郷用水に合流していました。



「呑川の会」当面の活動日程

記：高橋 光夫

\* 「会場確保」のため変更することがあります。担当者からのメール連絡にご注意ください。

<p>「呑川自然河床部改造・意見交換会」 2022年11月2日(水) 10:00~ 「調布地域庁舎3F」会議室</p> <hr/> <p>* 「久が原・仲池上地域-仲之橋~根方橋」 を中心とする環境改善を話し合います。</p>	<p>「大田区との意見交換会」 2022年11月14日(月) 14:30~16:30 「蒲田地域庁舎」大会議室</p> <hr/> <p>* 「定例開催」でしたが、コロナ渦で 延期されての再スタートになります。</p>
<p>「呑川の会・定例会」 2022年11月22日(木) 13:30~16:00 「蒲田図書館」多目的室</p> <hr/> <p>* 「世話人会」は11月11日 10:00~12:00 「ふれあいはずめま」第1集会室</p>	<p>「秋の都市河川ウォーク(矢川)」 2022年11月19日(土) 10時 「南武線 西国立駅」集合</p> <hr/> <p>* 雨天の場合 11月20日(日)に延期実施。 会報 1ページ参照</p>
<p>「せせらぎ公園の緑を守る会」 ・呑川ウォーク 2022年11月23日(水) 13:30 池上駅集合</p> <hr/> <p>* 雨天の場合は、11月27日(日)に実施</p>	<p>「都立田園調布高等学校」 フィールドワーク発表会 「ゼミ内発表会」2022年12月14日 「全体発表会」2023年1月18日</p> <hr/> <p>* 詳細は後日発表。</p>
<p>「洗足池小学校・呑川学習」 実施予定日 2023年2月16日(木) 17日(金)・20日(月)・21日(火)</p> <hr/> <p>* この4日間の内、実施日と雨天実施日が 決まります。</p>	<p>「呑川の会・定例会」 2022年12月17日(土) 10:00~12:00 「消費者生活センター」2階 講座室</p> <hr/> <p>* 「世話人会」は12月9日 10:00~12:00 「ふれあいはずめま」第1集会室</p>
<p>「大田区エコフェスタ」 2023年2月12日(日)(池上会館)にて</p>	<p>「呑川の会」は写真展示の他、「カワセミクラ フト」の制作・指導を行います。</p>

\*\*\*\*\*  
(編集後記).....(記：白石 瑠朗)

今年は季節の変化が早く激しくて、順応してついて行くのが大変だと感じました。もう冬の風情ですが、紅葉を求めて「矢川ウォーク」を楽しみたいと思っています。\*\*\*\*\*